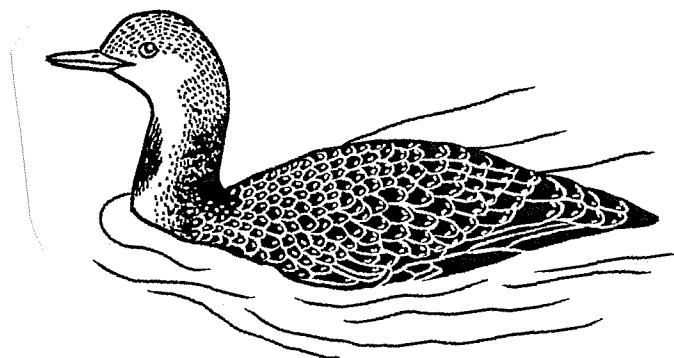


PTA活動の手引き



広島県の鳥 アビ

広島県PTA連合会

はじめに

単位（各小・中学校）PTAにおいて役員に就任された方、ご苦労様です。

これから1年間、いろいろPTA行事に関わられることだと思います。せっかく就任したのですから、楽しんでやり遂げましょう。やはり役員の方々が楽しそうに活動していると、まわりの保護者や子どもたちも明るくなります。なりよりもわが子や家庭内が明るくなります。

でも、時にはしんどいことも出て来るかもしれません。そんな時は一人で抱え込まないで、仲のいい保護者やPTA会長（役員）に相談をしたり、話を聴いてもらうのもいいでしょう。

また、仲間が困っている時には、話を聴いてあげることも大切です。

こうして、仲間と共にPTA活動をしてきたからこそ出会えた人もいるし、活動したからこそ経験できたこともたくさんあると思います。

また、いろんな行事などの企画・運営に関わったことにより、これまであまり知らなかった学校のことや先生方、それに地域のことも知ることができ、自分の世界が広がってくるように思います。

こうしたPTA活動をとおしての経験や気付きなどを紹介することによって、初めて役員になられた方をはじめ、多くの役員にとってもお役に立つことを願って、このたび広島県PTA連合会では、「手引き」を作成しましたので是非ともご活用いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、本手引き作成にあたりましては、広島県教育委員会生涯学習課をはじめ、全国の関係協議会や多くのPTA関係者の方々にご指導・ご助言賜りましたことにお礼を申し上げ、はじめの言葉といたします。

平成27年3月吉日

広島県PTA連合会
会長 平田 誠治

もくじ

はじめに

1 役員になっちゃいました	
(1) P T Aとは?	1
(2) P T C Aとは?	1
(3) 組織図(例)	2
(4) P T A会則について	2~3
Q&A 「P T A役員に求められることは」	
(5) 連携・協力図(例)	3
(6) 役員の心理	4
(7) 役員になったら	4
(8) 保護者の心理	5
(9) P T A活動への参加率を増やすには	5
(10) 各種会合を成功させる秘訣	6
(11) やっぱりあいさつは苦手 体験談及びQ&A	7~9
2 各種会議	
(1) 楽しくない各種会議	10
(2) 楽しかった各種会議	11
3 各種会議を成功させるために	11~12
4 県P連役員(郡市P連・単位Pも含む)になって良かったと思うこと	
	13~14
5 各種研修会・講演会	15~17
(1) 「親の力」を学びあう学習プログラムの活用	

1 役員になっちゃいました

(1) P T Aとは?

①「保護者(Parents)」と「教職員(Teachers)」の「会(Association)」です。

②「子どもたちの健全な成長のため」に、親と先生が協力します。

③「親同士が、つながり、学びあう」ことで効果は高まります。

(2) P T C Aとは?

①最近、全国各地の学校で「P T C A」という新型組織の設立が相次いでいる。

これは従来のP T A(保護者と教職員)に、C(コミュニティー:地域住民)を加えた組織をさす。地域住民と学校の関わりを密にすることで、複雑になる教育問題に対処していこうとするものだ。

(新潟県教育庁)

② P・T・C話し合い活動(都市連との共催事業)

広島県P T A連合会の昭和40年7月の総会資料によると、この活動の主旨について次のように記載している。

「子どもの幸せを念願して活動しているP T Aでは、その主な事業として両親学級による成人教育と、子ども会育成による校外補導活動を展開しているが、これだけでは不十分なことが明らかになった。それは、P(父母) T(先生) C(子ども)が、打ち解けた話し合いの機会を持つことである。‥略‥」

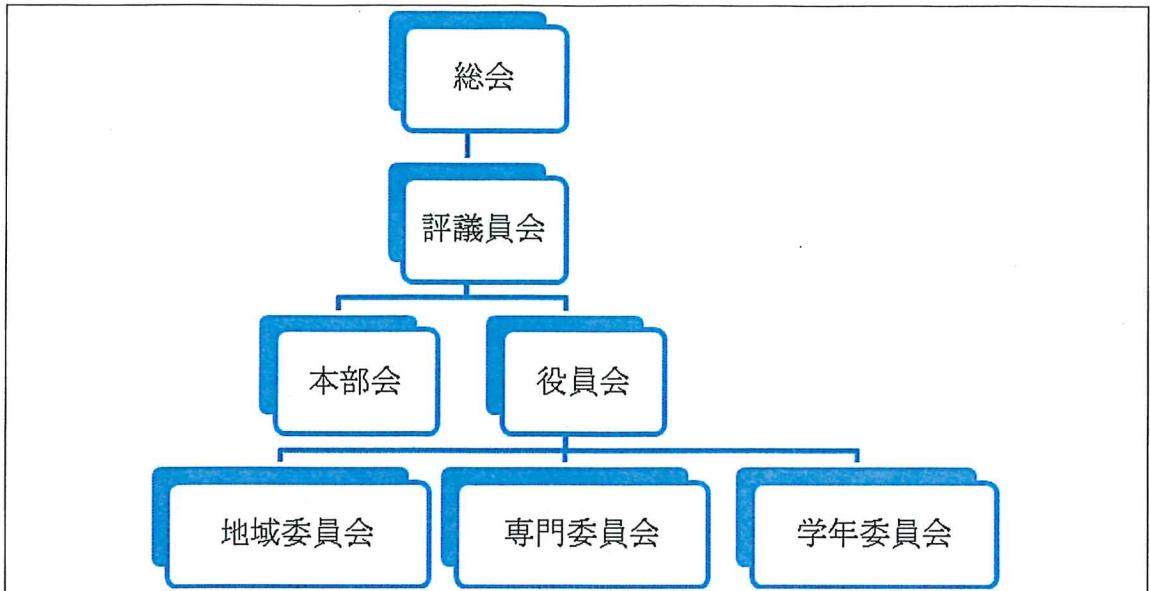
(広島県P T A連合会 昭和40年度年次総会要項より)

【Cのとらえ方】

多くの都道府県では、P T Cと言う場合のCは、「コミュニティー:地域住民」と解釈されているが、本県P T Aの場合は「子ども」ととらえている。



(3) 組織図（例）



(4) P T A会則について

各学校には必ずP T Aの会則があります。その内容は各学校によって違いますので、役員になられた場合はまず自分の学校のP T A会則に目を通してみるとよいでしょう。

毎年、年度初めに行われる「P T A総会資料」の中に会則が盛り込まれています。学校の組織形態を知る上で、一番早い方法です。



□ P T A活動 Q & A

「P T A役員に求められることは？」～改めて規約を読み直してみましょう～

P T Aは、児童生徒の健全な育成を計ることを目的に、保護者と教職員が協力して学校・家庭・地域社会における教育の振興・充実に努めることを主な目的としており、一般的には、会長・副会長・会計及び会計監査等の役員で構成されています。

これらの役員は、P T Aの方針や役割等を理解するとともに、教育への情熱を持ち、人との和を大切にするとともに、日頃から会員の声に耳を傾け、民主的で活気ある組織運営に努めなければなりません。

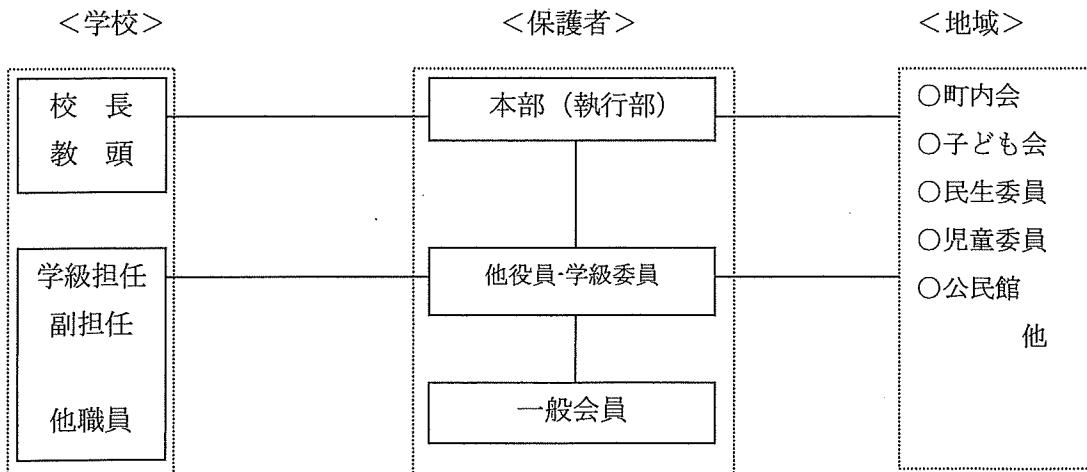
そのためには、組織活動の取り決めである規約を熟知しておく必要があります。

規約には、各单位P T Aや郡市P T Aなどの基本的な活動方針、目的や特徴、運営方針や会費などが明示してありますが、決して固定的なものではなく、社会の変化に即した改正や組織改編をすることもあります。

また、規約だけで対応できない場合は、細則などを設けることも必要となります。P T A役員として、規約・細則等に基づいた民主的な組織運営をするためにも、会員一人一人が日頃から規約を熟読し、身近な手引書として大いに活用したいものです。

【広島県P T A連合会新聞第44号より】

(5) 連携・協力図（例）



※ 各単位P T A（各小・中学校）の実態に応じて変更してご活用ください。

(6) 役員の心理

①不安感

- ・初めてのときは、特になにもわからないので、自分にできるか。
- ・引継ぎはしたが、何から手をつければいいのかわからない。
- ・みんなどうまくコミュニケーションをとりながらやっていけるか。
- ・文章をうまく書いたり、人前でちゃんと話せるか。
- ・皆さんをまとめていけるか。
- ・責任を感じすぎはしないか。

②負担感

- ・集まる機会が多い。 → 子どもや家族に手が回らなくなる。
- ・仕事の関係で集まりが夜になることが多い。
→ 小さい子どもを連れていったり、留守番させたりしなければならない。
- ・仕事との両立が厳しい。
- ・役員として皆さんに迷惑をかけたくない。
- ・会合では、部員が揃わなかったり、要領が悪かったりして、効率的に進まない。
- ・役員が頑張っているのに、文句、悪口、陰口を言う人がいる。

(7) 役員になったら

①連絡方法の確認

役員間の連絡やコミュニケーションが大切になります。現在の学校では、個人情報の保護のために連絡先の公開を最小限に留めている場合がほとんどです。したがって活動するに当たっては、役員同士の連絡先の確認が必要となりますが連絡網を作成するか、個人個人で登録し合うかは、各PTAのやり方があると思います。まずはそこからがスタートです。

②連絡網を作成する場合

- ・目的を明確にする
- ・連絡網の管理者を明確にする
- ・利用目的などを伝える
→ 目的以外に使ってはいけません。
- 連絡網に載っていない人に情報をもらしてもいけません。

大きな愛で
つなぐコミュニケーション!
つなぐ
家庭で、学校で、地域でー



→必要以上に印刷しないことも必要です。

- ・同意を得て情報を収集し配布する

- ・連絡網を回収・処分する

→年度末等で連絡網が不要になったら、回収し処分しましょう。

→連絡網の配布時に通し番号をつけておくと便利です。

(8) 保護者の心理（授業参観や学級 P T A に参加する保護者の視点から）

①楽しいことは好き。仲のよい友だちをつくりたい。つながりたい。

②できるだけ面倒くさいことは避けたい。

③先生はどんな人だろう？ 我が子をどんなふうに見ているのだろう？

④学級や学年、学校にはどんな子どもがいて、どんな雰囲気なんだろう？

⑤保護者には、どんな人がいるんだろう？

⑥わが子の様子が知りたい。

(9) P T A 活動への参加率を増やすには

①大変だと思われ敬遠されている？ 役員は意外とみられている。偉そうにせず親しみを感じてもらい、活動自体楽しそうだなと思ってもらえばイメージが変わるものではないか。動員の際に来てくれた人に声をかけて、また来てもいいかもと思ってもらうことも大事だと思う。

②仕事の都合などで参加しにくい人もいますが、参加しやすくなるよう声掛けをする。講演会の内容の工夫をするなどして、まずは役員から参加してよかったですという気持ちになれる行事をつくるべきである。

③半強制的なイメージから自由参加型のイメージに変えることで、少しでも参加しようと思う人が増えるかもしれません。

(10) 各種会合を成功させる秘訣

①事前の打合せ

→何をどのようにするか、会の流れと進行（特に終了時刻）を決める。

→準備するものを明確にする。

- ・名札や資料等

②内容の事前周知

→できるだけわかりやすく伝える

- ・期日のお知らせ

- ・会議内容も予め伝える

③参加者を大切に

→参加者への感謝の言葉・態度

- ・日頃の協力へのお礼

④和やかな雰囲気

→アイスブレイキングで笑いと楽しさを提供する。

→自己紹介を工夫して一人ひとりの特徴がだせるようにする。

⑤魅力ある内容

→方針や子どもへの愛情がみえる。

→子どもたちの様子や成長が見える。

→子育てのヒントが得られる。

→親同士が話し合い、つながり合う機会を提供する。

⑥閉会

→終了時刻を予め開始時に伝えておき、必ず守る。

何事も段取り8分です。



(11) やっぱりあいさつは苦手 体験談及びQ & A

誰だって人前であいさつをするのは緊張するものです。会長ならPTA総会や入学式・卒業式など、普段使わない言葉を使用して舌を噛みそうになります。

やはり、事前に原稿を作って本番もきちんと原稿を読みながらあいさつをしてください。慣れてくれば読まなくてもできる方もいますが、プロではありません。きちんと原稿を読みながらゆっくりとしたスピードで、スピーチをしてください。

ただし、原稿を作るのはどなたかにお願いしてもよいですが、内容はやはり自分で考えて下さい。

次に会長以外の役員に就任されると、会合の司会進行や、講演会の謝辞などの役割が回ってきます。司会進行は予め、タイムスケジュールを決めておき、特に終了時間は守って下さい。

また、講演会の謝辞は、講演をしっかりとお聴きになって、講師へのお礼の気持ちを込めて自分の言葉でおっしゃって下さい。案外、この中では謝辞というのが予め原稿が作れない分、一番むずかしいかもしれません。

ここでは、会長経験者の体験談をご紹介します。

□ 「入学式」と「卒業式」でのPTA会長あいさつ

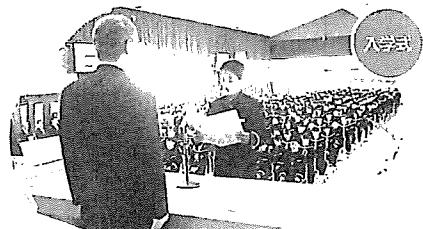
はじめてPTA会長に就任してもっとも悩まれ、緊張されるのは、入学式や卒業式でのPTA会長としての来賓あいさつではないかと思います。確かに両式とも厳かな儀式であり、緊張されるのは無理もありません。

そこでこれまで何度か経験してみて気付いたことを紹介してみます。

ご存じのとおり両式とも大切な学校行事であり、来賓あいさつもセレモニーの一つですので、挨拶文を紙に書いて封筒に入れ、それを取り出して読むという形がスムーズと言えます。決してあいさつの内容を覚えなくてはいけないと思わなくていいと思います。

また、時間は3分程度で終えましょう。ただ、PTA行事ではないのであまりくだけた感じのあいさつは避けましょう。

最後に、あいさつが終わったら封筒に原稿を戻し、演台の右隅において帰ることを忘れないようにしましょう。



□ ある郡市Pにおける会長経験者の方々の実際の声を箇条書きで紹介します。

○固い話は校長先生や来賓の方がされるので、固苦しくならないようにしています。

○注目されると顔が赤くなり汗も出てきて、伝えたいことが頭から飛んでしまったことが何度もありました。

○あいさつする機会が増えるにつれ、仕事やPTA活動の場面などでのあいさつされる方の言葉遣いやしぐさなどを気にかけるようになりました。

○1回1回のあいさつを楽しめるようになりたいと思っています。

○はじめてのあいさつで、役員の方々に「少しでも行事が負担にならないようにとの思いで、最小限の活動で頑張りましょう。」と言ったら、本当に最小限の活動になってしましました。

○分かりやすく話そうとして、話が長くなり焦ってしまい、なかなか結びの言葉が出てこず、冷や汗をかきました。

○具体的な事柄やデータを引用する時は、出典等を前もって調べておき、参加者の構成や会場の状況などを見たうえで判断するようにしています。

○卒業式の式辞の時、「本日はおめでとうございます。」というところを、来賓の接待の流れで、「本日はありがとうございます。」と言ってしまい、卒業生のみんなが？？？でした。

○老眼鏡をかけると、周りがぼやけて見え、一人だけで音読している感じがして、意外とうまく読みました。

○「音読が大事！！」夜中にブツブツ言いながら練習していました。そしたら、あいさつ状の全ての漢字にルビをふって、区切りは赤のボールペンで印を入れていました。

○涙もろいので、子どもたちの顔が少しでも見えたら号泣しそうです。

子どもたちは小さい時から知っているので、これでお別れって思うと・・・、もうダメですね。



□ P T A活動 Q & A

「P T A 役員とあいさつ」

「P T A役員としてどう挨拶したらよいか。」と聞かれることが多いので、ここであいさつの心構えや事前準備について紹介します。

まず壇上に上がって心構えとしては、視線が大切になります。背筋を伸ばし、胸を張って、会場全体のやや後方に視線を置き、適度に視線を移しながら良い姿勢で話すといいでしよう。

また、あいさつは「ゆっくり、はっきり」が原則です。特に、児童・生徒が対象の場合は、子どもたちの様子を見ながら、普段着の話し方が良いでしよう。

次に、事前準備には、「原稿作成」や「できあがった原稿は声を出して読む」ことが挙げられます。原稿作成にあたっては、話しかける対象に応じて、地域や学校の特性を考慮に入れ、自分の考えや体験談などを盛り込むとよいでしょう。

原稿ができたら、時間を計りながら、声を出して読んでみることが大切です。あとは会場の雰囲気を読み、リラックスして臨めば絶対大丈夫です。

【広島県P T A連合会新聞第43号より】

2 各種会議

共働きの家庭が多い今日、クラス役員を決める事にも苦労されていると思います。楽しい雰囲気を作りだし、PTA活動の楽しさを伝える事も役員の大切な役目かもしれません。PTA活動に意欲的に参加してもらえるように工夫をしてみましょう。

次の（1）～（2）は、クラス役員や保護者の声をまとめてみました。

（1）楽しくない各種会議

① 参加者について

- ・人數が少ない。
- ・いつも決まった人しか来ない。
- ・学年が上に上がるほど参加者が少ない。
- ・役員決めの時、来ない人を抜いて決めてしまう。静かで冷たい空気感が漂う。
- ・懇談会に参加せず、参観が終わると帰る人が多い。
- ・仲の良い保護者同士でグループが出来ていて入っていけない。
- ・役員決めで一人一役は引き受けるが、それ以外に関心を示さない人がいる。

②課題やテーマについて

- ・会合に出席しても報告を受けるだけで終わってしまう。
- ・会議で話題を振っても、反応がうすい。
- ・懇談会では話しにくい雰囲気の中で、子どもの事を話さなければいけない。

③進行について

- ・意見を求めるても皆下を向いて無言のために困った。
- ・個人的な事、子どもの愚痴を延々と話す人がいる。
- ・一人の保護者がずっと話している場合がある。
- ・懇談会で決まった人ばかり参加するのに、毎回自己紹介をさせられる。
- ・懇親会の進め方にマニュアル的なものがあれば、広がりや深まりが期待できる。
- ・懇談会の場が、子育ての悩みを相談できる場になるともっとよい。
- ・保護者同士の私語で、会の進行の妨げられることがある。



(2) 楽しかった各種会議

①内容の工夫

- ・レクレーションや懇親会の計画を立てた。
- ・茶話会で、自分の子どもの事について話した。
- ・担任の先生の身の上話を聞くことができた。
- ・授業参観の感想を皮切りに始めた。
- ・先生による行事のスライドショーを見せてもらった。
- ・子どもたち一人一人の成長がわかる資料を用意した。
- ・進路関係の内容も入れてみた。
- ・日頃の子どもの様子を各々が話し、それに共感し話が盛り上がった。
- ・グループに分かれて情報交換をした。
- ・先生が一人一人の学校の様子など、良い面、気になる面を話してくれた。
- ・親の悩みの共有をできた。

②進行の工夫

- ・先生が保護者同士のつながりが持てるように工夫してくれた。
- ・食事会などを開いて普段しゃべらない人と仲良くなれた。
- ・学級費を使って、お茶を飲みながら話をした。
- ・名札を工夫してみた。
- ・保護者の自己紹介に出身小中学校や部活なども話してもらった。
- ・事前に話したい内容のアンケートをとった。
- ・問題提起をしながら、みんなで話し合った。
- ・子どもの悩みを出してもらい、保護者同士でアドバイスをした。

3 各種会議を成功させるために

(1) 役員と担当教職員との事前打ち合わせ

- ・先生とテーマを事前に打ち合わせて、それに沿って進める。
- ・事前に、進行の仕方、準備物等をよく打ち合わせておく。
- ・必要に応じて、資料を作成する。

(2) 親同士をつなげる工夫

- ・仲良しへグループで固まらないようにくじ引きで席を作る。
- ・一人でいる人をつくらないように、机やイス並べなどをみんなでする。
- ・机を円卓のように並べて、お互の顔が見えるようにする。
- ・どの子の親か分かるように、名札を付ける。
- ・名札にも子どもの名前を書くと、より分かりやすく繋がりができやすい。
- ・誰もが発言しやすいような雰囲気を、役員が率先して作り出す。
- ・自己紹介を求める時は、具体的な内容を伝えるとよい。
- ・時には茶話会形式でお茶やお菓子を出してみる。

(3) 課題やテーマ

- ・マンネリ化しないために、毎回一つでも違ったテーマを入れて話し合ってみる。
- ・役員会などで取り上げられたテーマなどの情報を提供する。
- ・テーマにしたい内容などを保護者にアンケートした。

(4) 進行にあたって

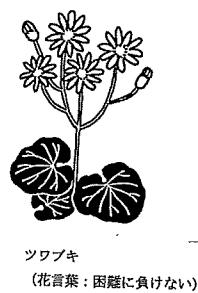
- ・できるだけ笑顔で話すように心掛ける。
- ・保護者が話しやすいように、話題に提供は役員がする。
- ・時間は短くてもいいので、質をあげる。
- ・始まる前に一言、保護者に対して参加のお礼の言葉を述べる。
- ・議事が終わったら、少しはやくともだらだらせずに会を終わらせる。
- ・「ふけい」ではなく、「保護者」と呼ぶ。
- ・まとめられなくても全員の話を聞く。
- ・自分の意見を押し付けない。
- ・話す内容がない場合は、話し上手な保護者に話を振ったりしてみる。
- ・良くない話題（クレームや不満など）で盛り上がらない。



4 広島県PTA連合会役員（郡市P連・単位Pも含む）になって良かったこと

- 役員をしていると、人とのつながりが広がっていくこと。また、役員をしてないと、我が子中心にしか考えられないことも、他者のことや状況、環境等、大きな視野で冷静に考えることができることです。
- PTA活動の全体が見えてくることにより、より活動の意味や必要性を感じるとともに、(幅広く周知されることで) PTA活動の幅が広がっていきます。是非多くの方に関わっていただき、経験をしていただきたいと思います。
- 単P以外の会員の方と話す機会が増え、いろんな考え方を聞くことができたし、市P・県Pの活動の意義を理解することができた。役員にならない限り、市P・県Pの活動に関わることが少なく、(今までの自分がそうであったように、) PTA活動を知らないで終わるようにならぬかと思われる。
- 県内各地の役員と交流でき、いろんな情報、活動事例を知ることができた。今後の市Pや単Pの方向性や活動内容を決める参考になった。同時に、省内はもとより全国に志を同じくした仲間が大勢いることに元気をもらった。
- 学校とのつながりが増えることによって、学校や子どもたちの現状がわかるようになった。また、様々な方面に知り合いが増えた。楽しいことが多いが自分の至らなさが身にしみる。
- 学校との距離が近くなる。先生方がどういう思いで子どもたちに関わってくれているかがよくわかるので安心できた。話をしたこともない保護者とも仲良くなれた。学校がいろいろなところから支援してもらっているということが分かった。
- 地域ごとの郡市P連の代表が集まり、組織が運営される中で、自分自身もその一員となって参画できることに意義がある。また、各種大会等に県P役員が一体となって企画・運営することが大変勉強になっている。

- 学校に行く回数も増え、大変な面もある一方、自分の子ども以外の子どもたちの様子がよく分かるようになる。また、県P役員として他の都市の取り組みを聞くことにより参考になる部分が大きい。
- 子どもがいるからこそできることであり、つながりやご縁を大切にしたいと思う。一生一度きりならいろいろやってみた方が、自分のためになることに出会えるし、自分の人生の広がりにもなる。
- 「PTA活動を通しての付き合いやつながりは、先々良い形で自分に返ってくる」PTAの先輩方から聞いていましたが、自分も本当にそう感じるようになりました。
- 我が子の学校での情報がよく分かる。また、市P・県Pの方々との交流を通じて、自分自身が成長できたと思います。特に、たくさんの人との繋がりは、これから的人生の財産になります。役員になつていないとこのネットワークはなかつたと思います。それに、人前でしゃべるのが得意になり、営業の仕事ではかなりプラスになります。
- 異業種間のつながりができること。それぞれのプロがPTAを通じてできた集団は、どんなに力強いものになるか身にしみて感じています。



ツワブキ
(花言葉：困難に負けない)

5 各種研修会・講演会

(1) 「『親の力』をまなびあう学習プログラム」(通称:「親プロ」) を知っていますか?

子育ては楽しいことが多いですが、心配したり、不安に思うこともありますよね。そんなとき皆さんはどうしていますか。

なんといっても私たちPTAは、子どもを通してつながっています。同じような悩みを持つPTAの皆さんのが集まって、子育てについて話し合うことで気が楽になったり、不安が解消されたりするものです。

そこで、広島県教育委員会が家庭の教育力の向上を図るために開発した参加型学習プログラムを活用し、それぞれのPTA連合会において、各学校や地域の実態に合った企画や運営をしてみませんか。

広島県PTA連合会は、この「親プロ」の活用を積極的に推進し、応援してまいります。

Q:「親プロ」って何? 特徴は?

- A:・身近なエピソードをもとにした内容
・子育て段階等に応じたプログラム
・楽しく話す、聞いて納得する参加型

人気の学習プログラム
ベスト3

- 小学校PTA
1 No.18
2 No.14
3 No.17

- 中学校PTA
1 No.20
2 No.21
3 No.26

「『親の力』をまなびあう学習プログラム」一覧

段階	対象	No.	教材タイトル
子育て準備期	中学生 ・高校生 など青少年	1	おぎゅーってスゴイ! ~生まれてきた自分やがて生まれてくる命~
		2	親しらず 子しらず ~親子関係を振り返る~
		2-2 (フル版)	3 おや! おや? ~自分の西みと親のかわり~ 4 親になるって!? ~命を授かる責任と喜び~ 5 妊娠期のカラダとココロ ~パートナーの理解と協力~
	まもなく親 になる人	6	6-2 (フル版)
		7	出産は初めの一歩! ~思い描こう、赤ちゃんのいる生活~
		8	私の時間、子どもの時間 ~つくっていますか? 心の少り~
子育て前期	0~2歳児 の親	9	9 付き合いって難しい?! ~「私と周り」の人間関係を振り返る~ 10 買って貰って! ~さあ囁った! あなたなら?~
		10-2 (フル版)	11 こんな時、どうする? ~子どもの気持ちを受け止める~ 12 もうすぐ小学生! ~これまでの子育てを振り返る~
		12-2 (フル版)	13 ○○ちゃんがするっ!! ~自我の芽生えと親の思い~ 14 くらべないで! ~同じ子どもなんて一人もいない~ 15 みなおして! ~多様な視点から子どもを見る~
	3~6歳児 の親	16	16 体と心の変化 ~子どもの思い、親の戸惑い~
		17	17 どうす? どういう? ~子どもの人間関係へのかわり~
		18	18 さあ、どっち!? ~信じる、見守る、待つ、聞く~
	小学1~3 年生の親	19	19 思い出してみて・・・ ~私にもあった青春時代~
		20	20 わっ! ~私は得意ですか? ~気持ちを伝える鉛の芯の中で受け止める~
		21	21 ほどよい距離感って? ~子どもの自立と親の自立~
子育て後期	小学4~6 年生の親	22	22 よりぞーみて ~子育て環境の変化を知る~
		23	23 たちどまつみて ~こんな場面あなたなら?~
		24	24 かかわってみて ~地域の大人ができること~
	中学・高校生 の親		

多様化する現代的課題に対応した新規開発教材です。

乳幼児~高校生の父親	25	お父さんの子育てトーク! ~「父親」の楽しみを持ち寄る~
小学生~高校生の親	26	ケータイ! ウチではどうする?! ~考えてみて、わが家庭のつきあい方~
子育て期の親、働く人など	27	向き合ってみて・・・~「仕事」と「子育て」の調和のために~

赤ちゃんや小さい子どものいる家庭での読み聞かせ支援のツールとして開発した教材です。

まもなく親になる人、0~3歳児の親子	28	おひざにだっこでおはなししましょう~絵本をひらいてみませんか?~
まもなく親になる人、0~3歳児の親	29	おひざにだっこでおはなししましょう~読み聞かせ、どうしてる?~

Q：学校ではどんな場で実施できる？

A：「PTA研修会」を始め、「保護者会」

「学級・学年懇談会」「入学説明会」など
で実施していただいている。



PTAの研修会で
(府中町立府中中学校)

広島県教育委員会では、親の教育力の低下やモラルの低下など、家庭の教育力の低下が指摘される中、家庭の教育力向上を目指して、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」(通称「親プロ」)を活用した学習機会の充実に取り組んでいます。

保護者にとって身近な学校をステージに、PTA研修会や学級懇談会、保護者会や入学説明会など、学校と保護者をつなぐ様々な「場」でも活用できる参加型学習のプログラムです。保護者自身の子育ての悩みや不安を解消するだけでなく、保護者間の交流・ネットワークの深まりやPTA活動の活性化などにもつながります。

お子さんのしつけや子育てなど、家庭教育や学校生活のことで困っていることや悩んでいることはありませんか？子育てが楽しくなり、参加者同士の交流が生まれる「親プロ」を、ぜひあなたも体験してみてください。

自分の子育てについて気づき、振り返ることができます。

参加者の約70%が子育ての不安が軽くなったと感じています。

保護者同士の交流が深まり、ネットワークが生まれます。



入学説明会で
(東広島市立三永小学校)

PTA活動が活性化します。

ファシリテーターが進行し、保護者の学びが促進されます。PTA役員に負担はかかりません。

保護者と学校との距離が縮まります。



PTAの研修会で
(安芸太田町立殿西小学校)

Q：「親プロ」の進め方・講座の流れは？

A：「ファシリテーター」の進行により参加者同士が話し合い、学びあいます。

時間は60分から100分程度としていますが、ご希望の時間で実施可能です。

講座の流れ



打ち解ける
リラックスした雰囲気で
学習は始まります。



話し合う
教材に自分の思いを記入し、
グループで話し合います。



身近なエピソードを題材にした
ワークシートを使って学習します。



Q : 実施する場合の手順は?

A : ①会場と時間を確保してください。

②市町教育委員会等の家庭教育支援担当課または、県立生涯学習センターにお気軽に問い合わせください。

気づく
話し合いの内容について
振り返ります。

Q : 参加者の声は?

A : 「自分の子育てをふり返るいい機会になりました。」

「子供の『やりたい』を尊重できるようになりました。」

「家族で子育ての会話が以前より増えました。」

【参加された方の声】
私だけじゃない。みんな同じなんだと少し気が楽になりました。
軽妙してきましたばかりでしたが、仲間ができました。
子育てをふりかえることができました。

- 参加された方の声
- 自分の子育てを客観的に見つめることができました。
 - みんなで楽しく話をして、リフレッシュできました。
 - 子育ての先輩の話が聞けて気持ちが楽になりました。

- 【参加された方の声】
- ・みんなで意見を出し合うと新しい発見や共感することがあってよかったです。
 - ・子育て支援グループとして、今後の参考になった。
 - ・自分にないところを気付かせてもらって良かった。
- (三次市八次地区連合自治会 女性部会)

参加された方の声

ほかのお父さんもそれぞれ一生懸命なんだなと思いました。

普段あまり深く考えていないことに目が向かれてよかったです。

同じ年頃の子どもを持つ親と意見交換ができるて参考になりました。

父親だけのプログラム、おもしろかったです。



「親の力」をまなびあう学習プログラム (通称「親プロ」) は…

- ◇親子関係や家族関係をより豊かなものにしていくきっかけ作りのために、子育てについて交流しながら学び合う「寄って、話して、自ら気づく」参加型の学習プログラムです。
- ◇少人数でも、多くの方が集まられる場合でも実施できます。
- ◇様々な場面で使える複数のプログラムがあります。
- ◇話し合いを進行するためのファシリテーター(講師)を派遣します。

「親の力」をまなびあう学習プログラム 講座についてのお問い合わせは 今すぐこちらまで !

広島県立生涯学習センター TEL: 082-248-8848

メール : sgoshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

HP : <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>

【検索】 検索 ← クリック !

または各市町の「家庭教育担当課」へお問い合わせください。



お気軽に
ご相談ください



<アビ>

アビは、冬になると越冬のため飛来する鳥で、1931年国の天然記念物、1964年には広島県の県鳥に指定されている。

アビの群れが好物のイカナゴを追って集まり、海中に潜ったイカナゴをねらってマダイやスズキがやってきたところを一本釣りする。瀬戸内海に浮かぶ斎島周辺では、古くからアビを目印にし魚を釣る漁が行われていた。

このアビ漁にちなんで、この手引きがP T A活動の目印になることを願って、表紙のイラストにさせていただきました。

<参考資料等>

- ・ P T A活動「使える手引き」(長崎市教育委員会・同P T A連合会)
- ・ 「親プロ」関連資料(広島県教育委員会・広島県立生涯学習センター)
- ・ 新潟県教育庁
- ・ 優秀広報紙集(日本P T A全国協議会編)ほか

「P T A活動の手引き」

平成29年5月

編 集 広島県P T A連合会

発 行 同 事務局

広島市東区光町2丁目9-14

※ 平成27年3月に刊行しましたこの手引きに、広島県P T A連合会の役員の方々のご要望を受けまして、「4 広島県P T A連合会役員(郡市P連・単位Pも含む)になって良かったこと」(P13~14)などを追記いたしました。